

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2-4時間 教科書 p.8-9	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、心を開く	<b>感じたままに花</b>	「感じたことを大切に して、花をかくことをたの しむ」ことを通して、心 を開き、楽しく活動する 力を培う	見たものや想像したもの の形や色、印象をもとに、 自分なりのかき方で、絵に 表す楽しさを感じ取り、心 地よさを味わう内容である。 見たり想像したりした花 を自分の好きな色の絵の具 をたっぷり使ってかく。細 かくかくことから解放し、 塗る感覚で、気に入った形 や色の組み合わせ、情景 などを見つけながらかく。  〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通し て、形や色、動きや奥行 きなどの造形的な特徴を とらえ、これをもとに自 分のイメージをもつ。	関：花の形や色を自分 なりにとらえ、絵に表す ことを楽しむ。 発：画面の組み立て方 や配色をかき(塗り)な がら考えたり、試みたり して、それをもとに発想 を広げる。 創：描画材料の扱い方 を工夫し、その効果を確 かめながらかく(塗る)。 鑑：友達の作品を見て、 そのよさや美しさ、おも しろさを感じ取る。	関：花の形や色を自分 なりにとらえ、絵に表す ことを楽しんでいる。 発：画面の組み立て方 や配色をかきながら考 えたり、試みたりすると ともに、それをもとに発 想を広げている。 創：描画材料の扱い方 を表現に生かす工夫を し、その効果を確かめ ながらかいている。 鑑：友達の作品を見て、 そのよさや美しさ、おも しろさを感じ取っている。	関：花の形や色を自分 なりにとらえ、絵に表す ことを積極的に楽しん でいる。 発：画面の組み立て方 や配色をかきながら深 く考えたり、試みたり するとともに、それをも とに豊かに発想を広げ ている。 創：描画材料の扱い方 を表現に生かす工夫を 独自にし、その効果を 確かめながら進んでか いている。 鑑：友達の作品を見て、 そのよさや美しさ、おも しろさを深く感じ取り、 積極的に話し合うなど している。	教師：画用紙、色画用 紙、共同絵の具(アクリ ル絵の具、ポスターカ ラー)、花  児童：水彩用具一式、 クレヨン、パスなどの 描画材料
4-6時間 教科書 p.10-11	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	※ <b>わたしのお気 入りの場所</b>	「気に入った身近な場 所のかき方をくふうす る」ことを通して、形 や色、方法や材料を工 夫する力を培う	自分にとってなじみ のある身近な場所から 気に入った場所を選び、 改めてよく観察し、そ の場所への思いを表す ため、自分の感じたこ とを大切に表し方を工 夫して絵に表す。  〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通 して、形や色、動きや 奥行きなどの造形的な 特徴をとらえ、これを もとに自分のイメージ をもつ。	関：自分が気に入っ ている場所を、感じた ことを大切にしながら 表すことを楽しむ。 発：自分が感じたこ とを表すために、形や 色、構図などの表し方 を考え、それをもとに 発想を広げる。 創：これまでの経験 を生かし、使いたい描 画材料を選び、表し方 を工夫する。 鑑：友達の表したいこ と、表し方のよさやお もしろさを味わう。	関：自分が気に入っ ている場所を、感じた ことを大切にしながら 表すことを楽しん でいる。 発：自分が感じたこ とを表すために、形や 色、構図などの表し方 を深く考えるととも に、それをもとに発 想を広げている。 創：これまでの経験 を十分生かし、使いた い描画材料を選び、表 し方を工夫している。 鑑：友達の表したいこ と、表し方のよさやお もしろさを味わって いる。	関：自分が気に入っ ている場所を、感じた ことを積極的に楽しん でいる。 発：自分が感じたこ とを表すために、形や 色、構図などの表し方 を深く考えるととも に、それをもとに豊 かに発想を広げている。 創：これまでの経験 を十分生かし、使いた い描画材料を進んで 選び、効果的な表し 方で工夫している。 鑑：友達の表したいこ と、表し方のよさやお もしろさを深く味 い、積極的に話し 合うなどしている。	教師：画用紙(四つ切 り、八つ切り、16切 りなど)、色画用紙 や黄ボール紙など、 デジタルカメラ  児童：水彩用具一式、 コンテ、クレヨン、 パスなどの描画材 料
2時間 教科書 p.12-13	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	<b>なぞの入口から ...</b>	「「入口」という言 葉から想像したり、考 えたりして、表したい ものを思いつく」こ とを通して、試したり 、見つけたり、考 えたりして、思いつ く力を培う	「入口」という言 葉から、どんな所へ の入口か想像を広げ、 入口の向こうの世界 への思いをもって粘 土で立体的に表す内 容である。 入口として、門、 ドア、橋、トンネル、 穴などから発想し、 つくりながらイメ ージを広げて表現す る。作品をいろい ろな方向から見て立 体的に表し、粘土の 可塑性を生かして、 つくり変えながら、 表現を深める。  〔共通事項〕との関連 粘土の可塑性を生か す活動を通して、形 や動き、奥行きなど の造形的な特徴をと らえ、これをもとに 自分の表したい立体 のイメージをもつ。	関：粘土の特性に関 心を持ち、試しなが ら表すことを楽しむ。 発：入口という言葉 から発想を広げ、入 口の向こうの世界を イメージしながら、 入口を構想する。 創：粘土の可塑性 を生かして、指先や 粘土べらなどの用 具の使い方を工夫 して表す。 鑑：互いの表し方 のよさやおもしろ さを味わう。	関：粘土の特性に関 心を持ち、試しなが ら表すことを楽し んでいる。 発：入口という言葉 から発想を広げ、入 口の向こうの世界を イメージしながら、 入口を構想してい る。 創：粘土の可塑性 を生かして、指先 や粘土べらなどの 用具の使い方を工 夫して表している。 鑑：互いの表し方 のよさやおもしろ さを味わっている。	関：粘土の特性に 高い関心を持ち、い ろいろと試しなが ら、進んで表すこ とを楽しんでいる。 発：入口という言葉 から豊かに発想を 広げ、入口の向 こうの世界をイメ ージしながら、そ れにふさわしい 入口を構想してい る。 創：粘土の可塑性 を十分に生かして、 指先や粘土べら などの用具の使 い方を工夫して 効果的に表してい る。 鑑：互いの表し 方のよさやおもしろ さを深く味わ い、積極的に話 し合うなどして いる。	教師：粘土(一人 1.5～2kg)、粘土 板、粘土べら、 竹串  児童：タオル
4-6時間 教科書 p.14	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	<b>布や枝のコン サート</b>	「布や枝の特ちょう を生かしたかざりの つくり方をくふう する」ことを通 して、形や色、方 法や材料を工夫 する力を培う	布や枝などの特 徴を感じながら、 イメージを広げて 表したいことを形 にする内容である。 布は柔らかく広 がりをもつこと から、巻いたり張 ったり包んだり できる。裂けば ひもにもなる。枝 は幹や芯などの 構造体になる。枝 と枝の間に布を 張ることで面を 見つけたり、枝 分かれのところに 着目して布を巻 いたりなど、思 いついたことを 試し、その過程 で発想したことを 表現する。  〔共通事項〕との 関連 布と枝を組み合 わせてつくる活 動を通して、布 や枝の形や色、 動きや奥行き などの造形的な 特徴をとらえ、 これをもとに自 分のつくりたい もののイメージ をもつ。	関：布や枝の特 徴に関心を持ち、 いろいろと試 しながら表す ことを楽しむ。 発：材料の可 能性を試しなが ら発想を広げ、 表したい形な どを構想する。 創：布や枝の よさや美しさ、 おもしろさな どの特徴を生か して、使い方 や組み合わせ 方を工夫する。 鑑：友達の作 品のよさや表 し方の工夫な どに気づき、 感じ取る。	関：布や枝の特 徴に関心を持ち、 いろいろと試 しながら表す ことを楽しん でいる。 発：材料の可 能性を試しなが ら発想を広げ、 表したい形な どを構想してい る。 創：布や枝の よさや美しさ、 おもしろさな どの特徴を生か して、使い方 や組み合わせ 方を工夫してい る。 鑑：友達の作 品のよさや表 し方の工夫な どに気づき、 感じ取っている。	関：布や枝の特 徴に高い関心 を持ち、いろ いろと試し ながら表す ことを積極 的に楽しん でいる。 発：材料の 可能性を いろいろ 試しなが ら豊かに 発想を 広げ、表 したい 形など を構想 してい る。 創：布や 枝のよ さや美 しさ、 おもしろ さなど の特 徴を効 果的に 生か して、 使い 方や 組み 合わ せ方 など を工 夫し てい る。 鑑：友 達の 作品 のよ さや 表し 方の 工夫 など に深 く 気づ き、 感じ 取っ て、 進 んで 話 し 合 う な ど し て い る。	教師：ペンチ、針 金、ひも、毛糸、 布切れ、接着剤、 枝木、つま、竹  児童：布切れ、不 要にな った布 製品、 ひも、 毛糸、 枝木

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.15	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	白い物語	「白い材料や場所の特 ちょうを生かしたり、考 えたりする」ことを通し て、試したり、見つけた り、考えたりして、思い つく力を培う	身のまわりの白い材料を集め、白さや手触りの違い を味わいながら、思いついた活動をする造形遊びであ る。生活の中から白い色に注目して材料を集めること から始める。白い材料の違いやよさ、または「白い 色」に感じる特徴などを話し合いながら、場所の特徴 を生かして活動し、思いついたことを試していく。  〔共通事項〕との関連 身近な白い材料を使い、場所や環境を生かしなが ら、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとら え、これをもとに自分でしたい活動のイメージをも つ。	関：身近なものの「白い色」に関心をも って楽しむ。 発：材料の形、手触りによる白さの違 いを感じて思いを広げる。 創：材料の組み合わせや場所の特徴を 生かす工夫をする。 鑑：互いの感じ方や活動のしかたを認 め合う。	関：身近なものの「白い色」に関心をも って楽しんでいる。 発：材料の形、手触りによる白さの違 いを感じて思いを広げている。 創：材料の組み合わせや場所の特徴を生かす 工夫をしている。 鑑：互いの感じ方や活動のしかたを認め合 っている。	関：身近なものの「白い色」に高い関心をも って楽しんでいる。 発：材料の形、手触りによる白さの違 いを感じて豊かに思いを広げている。 創：材料の組み合わせや場所の特徴を生かす工 夫を効果的にしている。 鑑：互いの感じ方や活動のしかたを深く認め 合っている。	教師：材料を貼り合わせ たり、連結したりする用 具（白色のテープ、ひ も、白い洗濯ばさみやク リップなど）  児童：白い身辺材、はさ み、ホチキス、大きな紙 袋（材料持参用の袋を片 づけ用の袋としても活用 する）
2-4時間 教科書 p.16-17	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを経験 させ、心を開く	墨のうた	「墨を使って、思いのま まにかくことをたのし む」ことを通して、心を 開き、楽しく活動する力 を培う	墨独特のかき心地のよさや、ぼかし、にじみ、かす れ、軌跡などを楽しみながら、自分らしい表現を見つ けていく。また、様々な濃さの薄墨をつくったり、縄 やスタッフなどでオリジナルの筆をつくったりして表 現の広がりを楽しむこともできる。また、消しゴムで 落款をつくったり、千代紙などで簡便な表装をし たりして、楽しむこともできる。  〔共通事項〕との関連 墨でかきなら形や濃淡、奥行きや配置などの感じを とらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	関：墨や和紙などの材料や筆づくりな どの活動に関心をもち、かくことを楽 しむ。 発：かきながら画面の構成を考えたり、 イメージを広げたりする。 創：あらゆる表現方法を試したり、効 果を確かめたりしながら、自分らしい 表し方を工夫する。 鑑：互いの活動や作品のよさ、おもしろ さなどに気づき、認め合う。	関：墨や和紙などの材料や筆づくりなどの活 動に関心をもち、かくことを楽しん でいる。 発：かきながら画面の構成を考えたり、イ メージを広げたりしている。 創：あらゆる表現方法を試したり、効果 を確かめたりしながら、自分らしい表 し方を工夫している。 鑑：互いの活動や作品のよさ、おもしろ さなどに気づき、認め合っている。	関：墨や和紙などの材料や筆づくりなどの活動に 強い関心をもち、進んでかくことを楽しん でいる。 発：かきながら画面の構成や濃淡の奥行きなどを 考えたり、イメージを豊かに広げたりしている。 創：あらゆる表現方法を積極的に試したり、効果 を確かめたりしながら、自分らしい表し方を意欲 的に工夫している。 鑑：互いの活動や作品のよさ、おもしろさなどに 気づき、積極的に認め合っている。	教師：和紙、画用紙、墨 汁、筆、縄、スタッフ、 割り箸、水彩絵の具(帛 絵の具、カラーインク)、千 代紙  児童：習字用具一式、は さみ、(落款用消しゴム)
4-6時間 教科書 p.20-21	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なもの の見方や考え 方、造形感 を養う	動き出すス トリー	「かんたんしくみ を使った動くおもちゃを くふうする」ことを通 して、形や色、方法や材 料を工夫する力を培う	いろいろな動く仕組みのおもしろさを感じ取り、動 き方からイメージを広げてつくりたいものを発想して つくる内容である。なかでも「リンク機構」「クラン ク機構」のもつ規則正しい動きをはじめとして、小さ な力（力点）が大きな動き（作用点）となって伝わる 楽しさや、支点を少しずらすと思いもしなかった動き に変化することへの驚きなどを発想に広げていく力を 育てたい。  〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きなどの造 形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイメージを もつ。	関：動く仕組みを理解し、動くとおも しろいものを考えて、つくることに興 味をもつ。 発：動く様子からイメージを広げ、動 くとおもしろいものを思いついたり、 つくり方を考えたりする。 創：動きに合った材料を選んだり、部 品を固定する方法を工夫したりする。 鑑：互いの作品を見せ合い、動きのお もしろさや工夫のよさに気づき、共感 する。	関：動く仕組みを理解し、動くとおもしろ いものを考えて、つくることに興味をも っている。 発：動く様子からイメージを広げ、動く とおもしろいものを思いついたり、つ くり方を考えたりしている。 創：動きに合った材料を選んだり、部 品を固定する方法を工夫したりしている。 鑑：互いの作品を見せ合い、動きのお もしろさや工夫のよさに気づき、共感 している。	関：動く仕組みをよく理解し、動くとおもしろ いものを進んで考え、つくることに高 い興味をもっている。 発：動く様子からイメージを豊かに広 げ、動くとおもしろいものを次々と 思いついたり、つくり方を考えたり している。 創：動きに合った材料を効果的に選 んだり、部品を固定する方法をさら に工夫したりしている。 鑑：互いの作品で遊びながら、動 きのおもしろさや工夫のよさに気づ いて積極的に話し合うなど、深く共 感している。	教師：色厚紙、色画用 紙、鳩目パンチ、鳩目、 割りピン、和紙、たこ糸  児童：はさみ、接着剤、 定規、セロハンテープ
6-8時間 教科書 p.22-23	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なもの の見方や考え 方、造形感 を養う	※ 強くてやさしい 組み木パズル	「切り方や切り分けた木 の組み立て方をくふうす る」ことを通して、形や 色、方法や材料を工夫す る力を培う	かきつぎ（切り込みを入れて組む接合方法）の技法 を使って板材を中心に立体的な表現をする。切った部 品の組み合わせ方を工夫する。道具の技能面では、前 学年の既習である電動糸のこぎりやきりの使い方、ま た紙やすりの使い方を押さえたい。クラスみんなで協 力し合い、部品をつなげて組み立てるのも楽しい。  〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きなどの造 形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイメージを もつ。	関：板材を組んで立体に表現すること に関心をもつ。 発：切った板材を組み合わせ、美しさ などを考えながら自分らしい発想をも つ。 創：丈夫な組み立て方や木材のよさを 表す方法など、工夫して立体をつ くる。 鑑：自分や友達作品のよさや工夫に 気づき、認め合う。	関：板材を組んで立体に表現することに 関心をもっている。 発：切った板材を組み合わせ、美しさ などを考えながら自分らしい発想をも っている。 創：丈夫な組み立て方や木のよさを 表す方法など、工夫して立体をつ くっている。 鑑：自分や友達作品のよさや工夫に 気づき、認め合っている。	関：板材を組んで立体に表現することに 強い関心をもっている。 発：切った板材を組み合わせ、美しさ などを考えながら自分らしい豊かな 発想を幅広くもっている。 創：丈夫な組み立て方や木のよさを 表す方法など、意欲的に工夫して 立体をつくっている。 鑑：進んで自分や友達作品のよさ や工夫に気づいて積極的に話し 合うなどし、認め合っている。	教師：木材(杉板が安価、 厚さ1cm)、電動糸のこ ぎり、替え刃、工作用紙(模 型・ものさし凹用)、 チョーク、紙やすり、き り ※修理用…木工用接着 剤、間伐材テープ、波く ぎ  児童：はさみ、部品を入 れるビニル袋(大)

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
4-6時間 教科書 p.24-25	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) 教科書 p.24-25	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	<b>クローズアップ で見える新世界</b>	「接写した写真の形や色から想像したり、考えたりして、表したいことを思いつく」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う	身近な場所の小さな所に注目し、デジタルカメラの大きく拡大する機能を使って接写する。撮影できた画面の形や色の特徴から感じたことや想像したことから思いを広げ、表したいことを見つかる。写真に見る形や色のおもしろさを話し合ったり友達の見え方や考え方を知り、自分のイメージをもつ。思いついた場面の伝え方を考え、登場させるものの大きさや位置など、表し方を工夫する。 <b>〔共通事項〕との関連</b> 接写して大きくなった場所の形や色のよさや特徴をとらえ、自分が表したいもののイメージをもつ。	<b>関</b> ：いつもは見過ごしている小さな場所に関心をもち、楽しみながら思いを広げる。 <b>発</b> ：接写して大きくなった場所の形や色の特徴から発想し、表したいことを見つかる。 <b>創</b> ：表す材料の特徴や経験を生かし、伝えたいイメージの表し方を工夫する。 <b>鑑</b> ：選んだ場所のよさや美しさを感じ、自他の考え方や表し方の違いに気づいて伝え合う。	<b>関</b> ：いつもは見過ごしている小さな場所に関心をもち、楽しみながら思いを広げている。 <b>発</b> ：接写して大きくなった場所の形や色の特徴から発想し、表したいことを見つけている。 <b>創</b> ：表す材料の特徴や経験を生かして、伝えたいイメージの表し方を工夫している。 <b>鑑</b> ：選んだ場所のよさや美しさを感じ、自他の考え方や表し方の違いに気づいて伝え合っている。	<b>関</b> ：いつもは見過ごしている小さな場所に高い関心をもち、多様な視点を楽しみながら思いを広げている。 <b>発</b> ：接写して大きくなった場所の形や色の様々な特徴に着目して豊かに発想し、表したいことを見つけている。 <b>創</b> ：表す材料の特徴や経験を生かして、できることの組み合わせを試し、伝えたいイメージのよりよい表し方を工夫している。 <b>鑑</b> ：選んだ場所のよさや美しさを感じ、自他の考え方や表し方の様々な違いに気づき、比べながら伝え合っている。	<b>教師</b> ：デジタルカメラ、写真を観覧するモニター機器、画用紙、場合によりプリンター <b>児童</b> ：水彩用具一式、その他の描画材料
4-6時間 教科書 p.26-27	A表現(2) ア、イ、 ウ (立体) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	<b>白の世界</b>	「形の組み合わせ方を考えたり、試したりして、表したい白の世界を思いつく」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う	軽さや耐久性に優れ、造形的な可能性も高い軽量紙粘土や液体粘土などを使い、思いのままに形ができる楽しさを味わいながら、自分の想像の世界を広げていく内容である。身辺材を含め、すべて白に同化させることにより質感も同質化され、形状だけが抽出され、物の形に対する見方が培われる。 <b>〔共通事項〕との関連</b> 身辺材を液体粘土で固めて立体に表す活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。	<b>関</b> ：材料に関心をもち、表現する意欲をもつ。 <b>発</b> ：自分のつくりたい世界やものを想像し、材料の特徴を生かしながらつくる。 <b>創</b> ：材料の特性に気づき、試しながら工夫してつくる。 <b>鑑</b> ：自分や友達の発想、工夫したところを認め合う。	<b>関</b> ：材料に関心をもち、表現する意欲をもっている。 <b>発</b> ：自分のつくりたい世界やものを豊かに想像し、材料の特徴を生かしながらつくっている。 <b>創</b> ：材料の特性に気づき、試しながら効果的に工夫してつくっている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の発想、工夫したところを認め合っている。	<b>関</b> ：材料に強い関心をもち、表現する意欲を積極的にもっている。 <b>発</b> ：自分のつくりたい世界やものを豊かに想像し、材料の特徴を十分生かしながらつくっている。 <b>創</b> ：材料の特性によく気づき、試しながら効果的に工夫してつくっている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の発想、工夫したところを認め合い、進んで話し合うなどしている。	<b>教師</b> ：軽量紙粘土、液体粘土、白い塗料、土台となるもの(板材や段ボール)、刷毛、液体粘土を入れる容器 <b>児童</b> ：布や身辺材料
2-4時間 教科書 p.28	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	<b>はさみと紙の ハーモニー</b>	「形や色の組み合わせをくふうする」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培う	身の回りにある紙をはさみで自由に切ってコラージュすることを楽しむ。はさみの切り心地を味わい、切った紙を並べたり、組み合わせたりしながら自由に発想を広げ、その形や色の重なりや奥行きなどを生かして表現する。最初から具象的な形に切らないようにしたい。 <b>〔共通事項〕との関連</b> 紙を切ったり、並べたりしてながら、形や色、奥行きなどをとらえ、これをもとに自分のイメージをもつ。	<b>関</b> ：自由に紙を切ることを楽しみ、形や色の組み合わせに関心をもつ。 <b>発</b> ：切った形やその色から自分らしい発想を広げる。 <b>創</b> ：切り方や、形や色の組み合わせを工夫することから自分のテーマを見つけて表す。 <b>鑑</b> ：互いの表し方、作品のよさや工夫に気づき、認め合う。	<b>関</b> ：自由に紙を切ることを楽しみ、形や色の組み合わせに関心をもっている。 <b>発</b> ：切った形やその色から自分らしい発想を広げている。 <b>創</b> ：切り方や、形や色の組み合わせを工夫することから自分のテーマを見つけて表している。 <b>鑑</b> ：互いの表し方、作品のよさや工夫に気づいている。	<b>関</b> ：自由に紙を切ることを積極的に楽しみ、形や色の組み合わせに強い関心をもっている。 <b>発</b> ：切った形やその色から自分らしい発想や構想を豊かに広げている。 <b>創</b> ：切り方や、形や色の組み合わせ、奥行きなどを効果的に工夫することから、自分のテーマを見つけて意欲的に表している。 <b>鑑</b> ：互いの表し方、作品のよさや工夫によく気づき、進んで話し合うなどして認め合っている。	<b>教師</b> ：各種の紙、色厚紙、画用紙、色画用紙など <b>児童</b> ：はさみ、のり、接着剤、色紙などの各種の紙、とっておいだ「自分いろいろがみ」
2時間 教科書 p.29	A表現(1) ア、イ、 ウ (造形遊び) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	<b>おどる光、遊ぶ かげ</b>	「身近な場所や光る用具・材料の持ちようを考えたり、試したりする」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う	電球やLEDライト、プロジェクターなどを使って、色セロハンやお花紙、和紙などの身近な材料と組み合わせ、おもしろい光や影の世界をつくり出す造形遊びの活動である。また、友達と協力して表し方を工夫したり、感じ取ったりする過程でコミュニケーションを深めながら楽しむ活動でもある。 <b>〔共通事項〕との関連</b> 光と影の効果を試しながら、形や色、奥行きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のしたい活動のイメージをもつ。	<b>関</b> ：光や影の美しさを生かした活動することに興味をもつ。 <b>発</b> ：光や影の効果を考えながら、表したい世界を考えたり、見つけたりする。 <b>創</b> ：光源と身辺材の組み合わせを試したり、光や影の美しさやおもしろさを表したりするための工夫をする。 <b>鑑</b> ：光や影の美しさを見つけたり、感じたりしながら、自分や友達の表現の違いやよさを味わう。	<b>関</b> ：光や影の美しさを生かした活動することに興味をもっている。 <b>発</b> ：光や影の効果を考えながら、表したい世界を考えたり、見つけたりしている。 <b>創</b> ：光源と身辺材の組み合わせを試したり、光や影の美しさやおもしろさを表したりするための工夫をしている。 <b>鑑</b> ：光や影の美しさを見つけたり、感じたりしながら、自分や友達の表現の違いやよさを味わっている。	<b>関</b> ：光や影の美しさを生かした活動することに強い興味をもっている。 <b>発</b> ：光や影の効果をよく考えながら、進んで表したい世界を次々と考えたり、見つけたりしている。 <b>創</b> ：光源と身辺材の組み合わせをいろいろ試したり、光や影の美しさやおもしろさを効果的に表したりするための工夫をしている。 <b>鑑</b> ：光や影の美しさを見つけたり、感じたりしながら、自分や友達の表現の違いやよさを深く味わい、積極的に話し合うなどしている。	<b>教師</b> ：懐中電灯、プロジェクター、様々な光源、色セロハン、ペットボトルなどの透明な容器、鏡、万能ばさみ、各種接着剤、テープ類、不織布、身辺材料 <b>児童</b> ：ペットボトルなどの透明な容器、色セロハンなど光を透過する色つきの材料、テープ類、身辺材料、はさみ

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
2時間 教科書 p.30-31	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	<b>形と色でショート チャレンジ</b>  <b>形と色が動き出 す！</b>	「形や色の変化、動きを くふうする」ことを通し て、形や色、方法や材料 を工夫する力を培う	パターン(型紙)を使うと同じ形を複数、繰り返して かくと動きを表現することができる。その方法から思 いついてお話をかいていく。あるいは、もとの形や色 を連続的に変化させながら少しずつ別のものに変身さ せていく。ものの連続的な変身を複数の画面で表現す るおもしろさを知らせたい。ここでは、形や色の繰り 返し、複数の画面の変化や動きをとらえた表現のおも しろさを体験させる短時間題材である。  <b>〔共通事項〕との関連</b> 形や色を連続的に繰り返してかくことにより、もの の動きや変化を表現することができることを知る。	<b>関</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく ことで、ものの動きや変化をとらえた 表現に興味や関心をもつ。 <b>発</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく ことで、ものの動きや変化をとらえた 表現を思いつく。 <b>創</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく 方法を工夫し、ものの動きや変化をと らえた表現をする。 <b>鑑</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく ことで、ものの動きや変化を表現す ることができることのできることに気 づく。	<b>関</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化をとらえた表 現に興味や関心をもっている。 <b>発</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化をとらえた表 現を思いついている。 <b>創</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく方 法を工夫し、ものの動きや変化をとら えた表現をしている。 <b>鑑</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化を表現するこ とのできることに気づいている。	<b>関</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化をとらえた表 現に興味や関心をもっている。 <b>発</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化をとらえた表 現を思いついている。 <b>創</b> ：形や色を連続的に繰り返してかく方 法をよく工夫し、積極的にものの動き や変化をとらえた表現をしている。 <b>鑑</b> ：形や色を連続的に繰り返してかくこ とで、ものの動きや変化を表現するこ とのできることに気づいている。	<b>教師</b> ：画用紙、色画用紙  <b>児童</b> ：クレヨン、パス、 色鉛筆、カラーフェルト ペン
2時間 教科書 p.32-34	B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さや楽しさを体験 させ、相互理解を 図る	<b>見つけたことを 話してみよう</b>	「絵をよく見て、たがいの 感じ方のちがいやおもしろ さをたのしんだり、 味わったりする」ことを 通して、心を開き、楽し く活動し、友達と関わり 合う力を培う	ここでは、絵画作品をよく見て、絵の中から見つけ たことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し 合うことで、自分や友達の見方や考え方、発想のおも しろさや楽しさに気づく内容である。  <b>〔共通事項〕との関連</b> 自他の感じ方の違いを通して、形や色、動きや奥行 きなどの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分な りのイメージをもつ。	<b>関</b> ：対象に興味や関心をもって働きか け、絵の中から見つけた人やものにつ いて、友達と話し合うことを楽しむ。 <b>発</b> ：自分の経験と重ね合わせたり、表 現の特徴をとらえたりしながら、自分 らしい見方や感じ方で、絵の中の人や ものなどについて考える。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発想 のおもしろさや楽しさに気づく。	<b>関</b> ：対象に興味や関心をもって働きかけ、 絵の中から見つけた人やものについて、 友達と話し合うことを楽しんでいる。 <b>発</b> ：自分の経験と重ね合わせたり、表現 の特徴をとらえたりしながら、自分ら しい見方や感じ方で、絵の中の人やも のなどについて考えている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発想 のおもしろさや楽しさに気づいている。	<b>関</b> ：対象に興味や関心をもって働きかけ、 絵の中から見つけた人やものについて、 友達と話し合うことを積極的に楽しん でいる。 <b>発</b> ：自分の経験と重ね合わせたり、表現 の特徴をとらえたりしながら、自分ら しい見方や感じ方で、絵の中の人やも のなどについて深く考えている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発想 のおもしろさや楽しさに十分気づいて いる。	<b>教師</b> ：関係する資料など
4-6時間 教科書 p.35-37	A表現(2) ア、イ、 ウ (絵) B鑑賞(1) ア、イ	 自分らしい表現を 追求したり、発見 したりする	<b>写して見つけた わたしの世界</b>	「スチレンボードの特 ちょうを生かし、刷りや ほりを試したり、見つけ たりして、表したいもの を思いつく」ことを通し て、試したり、見つけた り、考えたりして、思い つく力を培う	スチレンボードの特徴を生かして、身近材の型押し やボードの分解・再構成などで版をつくって表す内容 である。これまでの経験を生かして、彫り進み版画の 技法やパズル版画の方法、またインクの混色や重色の 効果を利用したり、ローラーの使い方を工夫したりし ながら、試行錯誤して主題を効果的に表現していく。  <b>〔共通事項〕との関連</b> 版画表現を通して、形や色、動きや奥行きなどの造 形的な特徴をとらえ、これをもとに自分の表したいイ メージをもつ。	<b>関</b> ：これまでの経験をもとに、材料の 特徴を生かして版づくりや刷りを楽し む。 <b>発</b> ：写り方を予想したり、写ったもの から想像を広げたりしながら、自分な りの主題を見つける。 <b>創</b> ：材料の特徴を生かして版づくりや 刷りの工夫をする。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発想 を感じ取る。	<b>関</b> ：これまでの経験をもとに、材料の特 徴を生かして版づくりや刷りを楽しん でいる。 <b>発</b> ：写り方を予想したり、写ったもの から豊かに想像を広げたりしながら、 自分なりの主題を見つけている。 <b>創</b> ：材料の特徴を生かして版づくりや 刷りの工夫をしている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発想 を感じ取っている。	<b>関</b> ：これまでの経験をもとに、材料の特 徴を生かして版づくりや刷りを積極 的に楽しんでいる。 <b>発</b> ：写り方を予想したり、写ったもの から豊かに想像を広げたりしながら、 自分なりの主題に合った表し方を 構想している。 <b>創</b> ：材料の特徴を生かして自分のイメ ージに合った版づくりや効果的な刷 りの工夫をしている。 <b>鑑</b> ：自分や友達の見方や考え方、発 想を感じ取っている。	<b>教師</b> ：スチレンボード、版 画用具一式、ばれん、版画 用和紙、水性版画イン ク、カッターナイフ、 カッターマット  <b>児童</b> ：新聞紙、フォーク やキャップなどの模様を つける身近材
6-8時間 教科書 p.38-39	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形的なものの見 方や考え方、造形 感覚を養う	<b>わたしはデザイ ナー 12さいの力で</b>	「板や角材を使って、生 活に役立つ入れ物をくふ うする」ことを通して、 形や色、方法や材料を工 夫する力を培う	板材や角材をもとに、何かを入れて使って楽しむも のをつくる内容である。だれが、いつ使うのか、どん な材料か、どんな方法でつくるのかなどの構想を練 ったり、ふたが開く仕組みを考えたりするなど、つくり たい思いを十分にふくらませてつくる。その際、必要 に応じて、アイデアスケッチを取り入れることも考え られる。電動糸のこぎりなど、これまでに使った用具 の経験を生かす。  <b>〔共通事項〕との関連</b> 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行き などの造形的な特徴をとらえ、これをもとに自分のイ メージをもつ。	<b>関</b> ：材料や用具を選び、自分の思いや 願いに合わせて、使って楽しむもの をつくることに興味や関心をもって 取り組む。 <b>発</b> ：材料の特徴やつくりたいものの大 きさや形などから、見通しをもって 構想を練る。 <b>創</b> ：形や色の美しさやおもしろさ、用 途などを考え、自分なりの材料の生 かし方を工夫する。 <b>鑑</b> ：友達と自分の発想や表し方の違 いに気づき、互いのよさを認め合 う。	<b>関</b> ：材料や用具を選び、自分の思いや 願いに合わせて、使って楽しむもの をつくることに強い興味や関心 をもって取り組んでいる。 <b>発</b> ：材料の特徴やつくりたいものの大 きさや形などから、見通しをもって 豊かに構想を練っている。 <b>創</b> ：形や色の美しさやおもしろさ、用 途などを考え、自分なりの材料の生 かし方を工夫している。 <b>鑑</b> ：友達と自分の発想や表し方の違 いによく気づき、互いのよさを進 んで認め合い、批評したり取り 入れようとしていたりしている。	<b>関</b> ：材料や用具を選び、自分の思いや 願いに合わせて、使って楽しむもの をつくることに強い興味や関心 をもって積極的に取り組んでいる。 <b>発</b> ：材料の特徴やつくりたいものの大 きさや形などを資料やスケッチをも とに、見通しをもって豊かに構 想を練っている。 <b>創</b> ：形や色の美しさやおもしろさ、用 途などを考え、自分なりの材料の 効果的な生かし方を工夫している。 <b>鑑</b> ：友達と自分の発想や表し方の違 いによく気づき、互いのよさを進 んで認め合い、批評したり取り 入れようとしていたりしている。	<b>教師</b> ：工作用紙、板材(シ ナベニア合板、杉の間伐 材など)、角材、木の枝、 くぎ、木工用具(金づち、 のこぎり、電動糸のこぎ り、ドライバーなど)、紙 やすり、木工用接着剤、 蝶番などの木工金具  <b>児童</b> ：水彩用具一式、定 規、鉛筆、セロハンテー プ、自分の表現内容に必 要な身近材

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
6-8時間 教科書 p.40-41	A表現(2) ア、イ、 ウ (工作) B鑑賞(1) ア、イ	 造形表現活動の快 さやたのしさを経 験させ、相互理解 を図ったり、総合 的な造形表現活動 を経験させたりす る	※ <b>伝え方をたのし もう</b>	「みんなで力を合わせ て、伝えたいことをつく り、発表し合う」ことを 通して、心を開き、楽し く活動し、友達や地域の 人などと関わり合う力を 培う	「だれに・何を・どのように」伝えるかをグループで 話し合いながら考える。同学年の友達やお世話になっ た地域の人、下学年など、伝える相手に合わせて「伝 えたいことや伝え方」を考え、意図に合った材料や製 作の計画を立てる。伝えたいことの内容、伝え方に 合った材料や用具の特徴をもとに表し方を工夫し、発 表したり友達や地域の人たちと関わり合ったりするこ とを楽しむ。  〔共通事項〕との関連 伝えたい相手や伝えたいことをもとによりよい伝え 方をとらえ、自分たちが表したいことのイメージをも つ。	<b>関</b> ：伝えたいことをもとに友達や地域の 人たちと関わり合うことに関心をもち、 計画的に表すことを楽しむ。 <b>発</b> ：伝えたい相手や内容を話し合うこ とを通して、伝え方に合った表し方を 発想する。 <b>創</b> ：伝える内容や方法に合った材料や 用具の特徴を生かし、伝え方を工夫す る。 <b>鑑</b> ：自他の伝え方のよさを感じたり発 表したりすることを通して、関わり合 う楽しさを味わう。	<b>関</b> ：伝えたいことをもとに友達や地域の 人たちと関わり合うことに関心をもち、 計画的に表すことを楽しんでいる。 <b>発</b> ：伝えたい相手や内容を話し合うこ とを通して、伝え方に合った表し方を 発想している。 <b>創</b> ：伝える内容や方法に合った材料や 用具の特徴を生かし、伝え方を工夫し ている。 <b>鑑</b> ：自他の伝え方のよさを感じたり発 表したりすることを通して、関わり合 う楽しさを味わっている。	<b>関</b> ：伝えたいことをもとに友達や地域の 人たちと関わり合うことに高い関心をもち、 計画的に表すことを積極的に楽しんでいる。 <b>発</b> ：伝えたい相手や内容を話し合うこ とを通して、伝え方に合った様々な表し 方を試したり、豊かに発想したりして いる。 <b>創</b> ：伝える内容や方法に合った材料の 組み合わせや用具の特徴を生かし、よ りよい伝え方を工夫している。 <b>鑑</b> ：自他の伝え方のよさを感じたり発 表したりすることを通して、関わり方 の違いやよさに気づき、関わり合 う楽しさを味わっている。	<b>教師</b> ：児童の計画に合 った材料や用具の用意、関 わり方の確認。共同絵の 具、計画用紙など  <b>児童</b> ：伝える「相手・内 容・伝え方」に合った材 料や用具、身辺材など
教科書 p.2-4	B鑑賞 (1)ア、イ		<b>小さな 美術館</b>		「小さな美術館」では、各学年の発達や課題に即し たテーマを設定している。誌面にはテーマに関連する 作家作品のほか、児童作品や活動風景なども掲載し、 表現活動とのつながりにも配慮した。また、児童が興 味をもって作品と出合えるように、先生や友達が語り かける形で鑑賞の視点を示している。さらに、どの学 年においても1ページ大で扱う作品を取り上げ、教室 での鑑賞資料として活用できるようにした。 ここでは「暮らしを見つめて」をテーマに、人物を 配した風景画を大きく2点取り上げている。「暮ら し」を切り口に、異なる時代や文化における人々の生 活を楽しむ中で、表現技法や画面構成、奥行きなど、 それぞれの作品の造形的な特徴にも気づかせていき たい。				
教科書 p.6-7	B鑑賞 (1)ア、イ		<b>ゆめをかた ちに</b>		児童がその学年で出合う材料や表現方法を使っ ている作家の作品と児童へのメッセージである。 ここでは、彫刻家の西山大基さんに登場していただ き、材料である木への思いやつくることへの願い、こ だわりを語ってもらった。				
教科書 p.18-19	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		<b>ひらめきコー ナー</b>		立体的、工作的な構造や、動かしやすさや飾り たりする造形のもつ機能を楽しみながら、造形表現の経験 を豊かにしようとする内容である。身近な紙や紙製品を 表現材料とし簡単な操作を加えながら、形や色、大きさ や重さ、厚みや硬さ、丈夫さやもろさ、弾力性や光の 透過性、手触りや肌触りなど紙のいろいろな種類や性 質、特性などを感じ取らせたい。また同時に、手先、 指先の働きや用具の扱いなど技能や技術に関わる能力 も高めることが期待できる。 絵や模様などを加飾したり、構造や仕組みの工夫、 遊び方や飾り方に児童の“ひらめき”が生きたりする ところも多い。造形への関心や興味を高め、自由で豊 かな表現を数多く経験させたい。 紙袋や紙ひも、新聞紙などの本来の使用目的から離 れ、表現材料として再利用することに関心を高め、収 集や分解、保管の方法などにも目を向けさせたい。				色画用紙、半透明の折 紙、手提げの紙袋、段 ボール、紙バンド、新聞 紙、綿棒、身辺材、接着 剤、セロハンテープ、は さみ、カッターナイフ、 カッターマット、定規、 穴あけポンチ、木づちな ど

時間数 ページ	学習指導 要領との 関連	図画工作科を通し て育てたい力	題材名	題材の課題・目標	題材の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点（規準）	B評価の基準	A評価の基準	用具・材料
教科書 p.42-43	B鑑賞 (1)ア、イ		<b>みんなの ギャラリー</b>		暮らしを豊かで楽しいものにするために造形が果たす役割は大きい。そのために、児童が関心をもてるような行事や祭り、イベントなどを紹介している。 ここでは、「伝統の技を学ぶ」「みんなでいっしょに」「教室を飛び出して」の三つのテーマでくくっている。				
教科書 p.44-45	A表現(2) ア、イ、 ウ（絵）		<b>パレットコー ナー</b>		各学年の発達の段階において必要な描画材料の基本的な使い方を示した。ここでは、身近な場所で見つけた形や色を取り上げ、見え方の違いや見る位置を変えて見るなど、中学校美術へつながる様々な情景写真を掲載している。 パレットコーナーでは、全学年とも「造形コレクション」のコーナーを設け、児童が絵をかくときの発想・構想のヒントとして活用できるようにした。ここでは、「日本に伝わる形・色」として日本の伝統工芸など美しい写真を掲載している。				
教科書 p.46-47	A表現(2) ア、イ、 ウ（工 作）		<b>道具箱</b>		道具は、材料とともに造形活動になくてはならないものである。児童が自らの思いを実現させるために、道具の正しく合理的な使い方を知ることは大切なことである。そのための手引きとなるページである。 ここでは、これまでの復習として電動糸のこぎり、金づち、紙やすりの使い方を掲載するとともに、ドライバーと蝶番の使い方や簡単な塗装のしかたを掲載している。 また、「ざいりょうはたからもの」では、材料を集めることから造形活動は始まるという視点から、主に高学年で扱う材料を掲載している。				
裏表紙	B鑑賞 (1)ア、イ		<b>つながる造形</b>		下巻では「つながる造形」をテーマとして、学年に応じて、児童の様々な活動の写真を掲載している。 高学年では、図画工作の力で、社会に、そして未来につながっていくことを掲載している。				